文教生活常任委員会資料
市立病院　経営統括部

議案第１３４号
令和元年度宝塚市病院事業会計補正予算（第２号）

資料4-1　医師の育児休業取得状況(過去3年間)

１　医師

(1) 平成31/令和元年度

（人）

	平成31年	令和元年											
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
育児休業中	3	2	3	3	3	3	3	3	*2*	未確定			
育児休業入り	0	0	1	0	0	0	0	0	*0*				
育児休業から復職	1	0	0	0	0	0	0	1	*0*				

※*斜体*の数値は現時点で見通しの立っている数

(2) 平成30年度

（人）

	平成30年												
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
育児休業中	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	
育児休業入り	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
育児休業から復職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 平成29年度

（人）

	平成29年												
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
育児休業中	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
育児休業入り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
育児休業から復職	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

文教生活常任委員会資料
市立病院　経営統括部

議案第１３４号
令和元年度宝塚市病院事業会計補正予算（第２号）

資料4-2　看護師の育児休業取得状況(過去3年間)

２　看護師

(1) 平成31/令和元年度

（人）

	平成31年	令和元年											
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
育児休業中	33	30	13	14	14	17	18	20	*22*	未確定			
育児休業入り	2	1	2	1	1	3	1	3	*3*	*1*	*1*		
育児休業から復職	4	19	0	1	0	0	1	1	*0*	*1*			

※*斜体*の数値は現時点で見通しの立っている数

当初予算編成時年平均30人と想定

(2) 平成30年度

（人）

	平成30年												
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
育児休業中	26	27	27	28	29	31	31	30	32	32	31	33	
育児休業入り	1	2	5	1	2	2	2	1	4	0	0	3	23
育児休業から復職	1	5	0	1	0	2	2	2	0	1	1	2	17

4～12月平均29.0

(3) 平成29年度

（人）

	平成29年												
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
育児休業中	33	26	18	18	17	18	22	23	23	23	26	26	
育児休業入り	3	2	1	1	0	2	4	2	1	1	3	0	20
育児休業から復職	9	9	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	25

３　育児休業中職員数の予測方法について

予算編成時点の育児休業中職員数の実績に、その時点で把握している年度末までの育児休業入り及び復職予定を加味して年間平均予測を算出し、それを参考に次年度の育児休業予定数を算出しています。

この算出方法を採る理由は、育児休業に関しては、子の出生日から3年という最大期間で申請しておき、復職する際に、期間を短縮するのが一般的であること。そして、個々の職員の復職のタイミングは、保育所への入所決定(*)や育児休業手当金（原則として１年間）の支給終了の時期とする例が多く、また職員それぞれの事情に応じたタイミングでの復職も一定数あるため、申請された休業期間での予測が困難であることによるものです。

(*) 新年度の保育所入所決定が保護者に通知されるのが大体1月中旬～3月中旬頃であり、その時点で復職希望を把握しても予算編成作業が終了しており反映することができない。